

箕面市議会市民ネットワーク

中西とも子のタウンミーティングを開催しました

6月28日(日) 午後2時～4時 箕面市立中央生涯学習センター 3階 講座室



6月議会の報告のあと、ご参加のみなさんと意見交換。とくに市立病院の赤字問題や、地域をあげて撤回を求めている都市計画道路案の問題、北急延伸工事の3年延期問題などは、意見が続出。議員の定数削減は「改革」ではなく市民の声が届きづらくなるだけという声も。とても参考になりました。

開かれた議会へ！

～一步一步前へ～

議会改革

2019年度の地域別意見交換会での声を
2020年の議会活動に活かします

場所	参加者数
東小校区コミュニティセンター	8人
中小校区コミュニティセンター	61人
南小校区コミュニティセンター	22人

◆参加者からのご意見(抜粋)と、取組み例

・学校の熱中症対策(暑さ指数28℃で屋外活動を禁止)について、小1から中3まで一律の規制ではなく、子どもが体調管理できる教育が必要。上からの一方的な命令ではなく、子ども・保護者・学校など現場の声を聴き、民主的な決定を求めました。

・低アレルギー給食により、逆に就学前のアレルギー対応の指導・教育が途切れてしまうことになっては、本末転倒。自己責任ではなく、学校教育の食育としてとりくむべき。

・「地域の担い手不足」「介護予防施策」に関連のご意見に対しては、介護ボランティア制度や地域住民が支え合うまちづくりの取り組みを学び、大きなヒントを得た(民生常任委員会視察)箕面市での活かし方を考えていきたい。

★ほかに、たくさんのご意見をいただきました。詳細は、市議会のホームページに掲載していますが、中西宛にご連絡いただければ資料をお届けします。みなさまからのご意見については、とくに全議員が一致できる課題については「議会として政策化する」ことが(議会本来の)役割だと中西は考えています。これからも議会としての機能がはたせるよう力を尽くします。

箕面市議会
(本会議・委員会等)の
ライブ・録画映像を配信



録画映像



ライブ映像

6月議会から議案書(紙ベースのもの)が廃止に

—タブレット端末の導入と引き換えに—

9月議会には決算書や、成果説明書など900事業が盛り込まれたボリュームのある冊子なども多々ありますが、これらも全て廃止。どうしても紙のデータが必要な場合は各自が準備することに。中西は、いつも前年度の決算書や予算書も見比べながらチェックしているので、個人的にはとても仕事がやりにくくなります。

議員定数・報酬検討特別委員会を設置

(6月9日開催)

定数削減の目的・意義について、提案会派には削減後の委員会運営等のビジョンがなく、報酬削減の目的についても場当たりので、委員会では終始、議論が噛み合いませんでした。建設的な議論が必要、とのことで、来期の課題として申し送りに。

★4月に予定していた民生常任委員会等の分野別意見交換会は、コロナの影響で残念ながら無期延期となりました。

事前の打ち合わせにご尽力いただきました「障害者グループホーム連絡会」さまには心から感謝とお詫びを申し上げます。

2019年度 政務活動費 (中西分) 収支報告

<政務活動費 収支報告/2019年度(2019年4月～2020年3月)>

収入		
項目	金額	備考
政務活動費	540,000	@45,000円×12ヶ月
支出		
項目	金額	備考
研修費	43,000	研修会、セミナー費
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	32,188	開示請求費用・参考図書購入
広報費	0	
広聴費	0	
要請及び陳情活動費	0	
人件費	0	
事務費	131,329	
合計	206,517	
差引額(戻入額)	333,483	(市に返還済)

箕面市議会 市民ネットワーク
中西とも子の議会報告

* この通信は政務活動費で発行しています。

Vol.5 2020年夏号

〒562-0003 箕面市西小路4-6-1 「市民ネットワーク」控室

Tel&Fax:072-724-6787

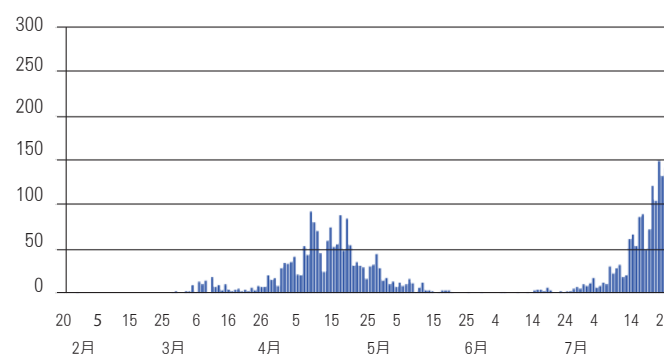
✉ t-nakanishi@gikai.city.minoh.osaka.jp



コロナの時代、誰ひとり置き去りにしない箕面に!

長かった梅雨明けとともに、コロナ感染の拡大が連日報道されるようになりました。「Go To トラベル」「アベノマスク第2弾」など、あきれる施策のオンパレード。「モリカケ桜」は言うに及ばずですが、まず国会を開き、しっかり議論してほしいです。

大阪府のコロナ陽性者数の棒グラフ



大阪府のコロナ陽性検査陽性者の状況

検査実施件数	70333 件
陽性者数 (累積)	3841 人
現在陽性者数	1154 人
入院	263 人
重症	10 人
入院調整中	425 人
自宅療養	190 人
宿泊療養	229 人
療養等調整中	44 人
死亡	89 人
退院・解除済累計	2598 人

※現在陽性者数には府外で健康観察を実施している方を含む

※再陽性者を除く

2020/7/30 時点

以上、大阪府の資料より

「第1波」の教訓を活かそう!

コロナ感染者数は、箕面市においては7月30日現在、累計で48名。うち「退院・解除」になっていないのは15名の方で、1日もはやく回復されますよう、お祈りします。

大阪府の7月29日時点のPCR検査件数は6万8263件。府内の人口が約880万人ですから、0.78%しか検査ができていません。まずはPCR検査をしっかりと行うことが大事だと思います。そのためには、国府が縮小した感染症病院、圧倒的な医師・看護師不足や診療報酬が少ない問題、保健所が箕面市にはないことなど、さまざまな諸課題とセットで声を上げていくことが重要だと中西は考えています。

「休業要請外支援金」は、当初の想定を2倍ほど上回る申請者数(箕面市1254件)。困っている方がいかに多いかが分かります。国の第2次補正支援策を分かりやすく市民にお知らせする必要があります。

コロナ禍により、女性や子ども、高齢者、障害者、外国人、非正規労働者などの以前から弱い立場の人たちに、より大きなリスクがのしかかっています。普段からのセーフティネットを見直すきっかけにしていかなければなりません。それぞれの現場への丁寧な聞き取りをして、国府の給付を活用しながら、教育、福祉、社会保障等の充実をはからねばなりません。

市民ネットワーク 中西とも子の政治スタイル

中西とも子は無所属です。政党には属していません。

- ◆行政を厳しくチェックします。
- ◆情報を公開し、市民のみなさまと一緒に問題解決をはかります。
- ◆社会的に弱い人の立場に立って行動します。
- ◆平和・人権・民主主義と環境を守ります。
- ◆組織にしばられることなく自分で考え、行動します。



議会報告

中西の質疑・一般質問から＜抜粋＞

コロナ禍から見えた課題は？ 弱い立場の人たちへの支援策を考えよう

問 マスク下の表情が分からない！ 透明マスクの普及を！

聴覚障害者にとっては、コミュニケーション手段として、手話や読話など口元や表情の動きを見ることが必要。マスクで顔が覆われることのないよう、透明マスクや、透明のフェイスガードを全市的に広めましょうと提案。



答 趣旨は理解できる。市ホームページや関係団体に、周知を図っていく

問 テレビ電話を庁内に！
困りごとがあった場合、手話や筆談でコミュニケーションがとれる。また、ささゆり園をはじめ、施設にWiFi環境の整備を。

答 ライフプラザでは「zoom」を使用。TV電話は必要ないが、法施行により当事者、相談先とオペレーターの三者による24時間365日の「電話リレーサービス」による相談が可能になる。

市の施設にある市インターネット環境は職員の業務用。一

般利用者への整備予定はない。

＊現在あるインターネット環境を、市民が使えないのは納得がいかず、市には再考を求めました。

参考までに・・・「障害者や社会的マイノリティを含めた人たちに一般市民と同じ普通の生活や権利が保障されるよう、環境を整備すること」このノーマライゼーションの考えは改正障害者基本法にも反映されています。市はこのことの意味を理解するべき。

問 市民に「手話が言語である」ことの意味と人材育成をかねて、シニア塾に「手話講座」を加えてはどうか？

答 手話講座は年間35回あるため、年12回のシニア塾とは枠組みが違う。

＊それなら、入門・初級コースというふうに、年度を分けての開催もできるのでは、と再考を求めました。

問 市に保健所がなかったことでの課題は？

答 池田保健所とは連携ができていた。とくに課題はない。

問 学生や芸術家支援策として、「ふるさと寄付金」の項目に加えたかどうか。

問 「その他」の項目があるので、寄付者の指定が可能。

トピックス

未婚のひとり親の 児童扶養手当申請書式が改善へ

「児童扶養手当」を申請する場合、未婚のひとり親には何種類もの追加調書が必要でした。パートナーだった人とどういう付き合いをしていたのか、細かに説明する申立書(頻繁に交流していた場所、回数、自宅での食事の有無や回数ほか)や、民生委員さんの証明書など、府のひな型を使ってきました。昨年の6月議会で中西が問題を指摘したところ、今年の3月から1枚の書類だけに改善され、民生委員の証明書も不要になりました。他の市区町村にも広がればよいと思います。



サンプラザ1号館の建替え 8月に参画するディベロッパー（開発業者）が決定予定

事業者が決定した後、約1年かけて事業者からのプランを基に区分所有者と検討に入ること。その後、建替え決議を経て、設計・工事着工となります。

現在、議決権の約92%、区分所有者の約71%が建替えに賛成。(建替え決定には、それぞれ5分の4以上の決議が必要) また都市計画審議会において駅前地区計画と高さ規制の除外が検討中。気にかかるのは、8階をはじめ、4階、3階、2階、地階の「文化・交流センター」がどうなるのか。郷土資料館はどうなるのか。区分所有者でもある箕面市の「文化交流」意識が問われます。今から声を上げよう！



都市計画道路案に異議を申し立てた市民の声が、 市を動かす！（委員会・都市計画審議会傍聴）

市では北急延伸による都市計画道路の見直しと整備を計画しています。

しかし、まず4か所の道路案について、説明会なしでパブリックコメント(市民意見)を募ったため、意見が少ない箇所があり、大いに問題。

また池田箕面線と萱野東西線の間に計画された、箕面4・5丁目の住宅街を貫く道路については、約600件の反対意見、1800筆の反対署名や要望書が市や議会に届きました。

議会では「成熟した街並みを壊す幹線道路の建設は必要ない」「市が示した道路混雑を示す数値は、人口減少が進む将来において有効なのか」など、撤回を求める意見が続出した一方で、都市計画審議会では「市内の道路網計画のなかで位置付けられていることを丁寧に説明して進めるべきだ、という意見もありました。

なお審議会では、市民の声をうけて4つの計画案のうち、池田線と萱野東西線間の道路は時間をかけて検討することとし、3つの計画案を先に進めることになりました。しかし、市内の道路網計画全体にかかわる整備について、1か所を除いて協議するというのは矛盾します。人口減少時代に、何百億円もの道路建設が本当に必要なのか。そのお金を市内循環バスの充実に使う方が有意義だと考えます。

マイナンバーカードは「申請」に不向き？ 定額給付金申請で大混乱！

国や箕面市はマイナンバーカードとマイナポータルを使ったオンライン申請を推奨しましたが、申請者の誤入力、重複申請が相次いだ結果、自治体の住民情報との照合に大変な手間がかかりました。また各自治体からのアクセスが集中した結果、「地方公共団体情報システム機構(J-LIS)」のサーバーは一時パンク状態に。また入力エラー 5回でロックがかかり、解除は役所まで行かねばならないなど、お粗末でした。



自治体「気候非常事態宣言」を求めました

このところの豪雨や温暖化による異常気象は自然生態系へも影響し、感染症のリスクを高めるなど人の健康にも悪影響を与えています。

「気候非常事態宣言」とは、国や自治体などが気候変動の危機に対して非常事態宣言を発表し、政策立案、計画、キャンペーンなど優先的に行うもの。日本では、長崎県壱岐市をはじめ2020年6月現在で、31の自治体と11の学会、研究機関で宣言されています。箕面市にも、決意を示す「気候非常事態宣言」を求めました。市の答弁は「現在のところ考えていない」とそっけないものでしたが、今後も求めています。

「北急延伸」レポート

今年度の北急説明会が、市内5カ所で開催

(7月：中西は3か所に参加)

＜コロナの影響＞延伸工事は影響がなく、文化施設は約1か月遅れ／延伸工事の進捗率は8割で、順調

＜3年延期に関して＞千里中央駅付近にある建物の下を通る鉄道の地上権設定は未だ。スケジュール的には、2022年3月までに完了の必要がある(可能なのか?)／大阪大学の通勤・通学の交通手段は、千里中央からの民間のシャトルバス利用を協議中

＜歩行者デッキ＞船場西公園付近の路上駐輪やバリアフリー対策は、検討中／デッキが完成するまでの、東西往来の安全対策は、池田土木・警察と協議中

箕面船場駅前地区のバリアフリーを 提案・求めました

地下駐車場とエレベーター内、改札口付近にと双方向でコミュニケーションが図れるTVモニターの設置を／地下駐車場とエレベーターホールに近いところへ、乗降スペースを／文化複合施設から屋外に出るための移動手段としてエレベーターの他にスロープの設置を

★これからのまちづくりは市民協働で進めてこそ。文化施設の運営や活用など、住民参加を支援するよう市に求めています。

